

除排雪・会費変更 説明会(8月分2回)を開催



2022年
8月31日
第176号

北郷東町内会



ホームページ

発行責任者 一
澤田 祐
編集責任者 博
編丸 橋



説明会に参加した皆さん(第1回)

北郷東町内会の「除排雪・会費変更」についての説明会が、8月7日(日)13:00〜第1回、24日(水)19:00〜第2回と北郷東会館で開催されました。第1回には17名、第2回には16名の会員が参加され、町内会の重要なテーマに真剣な議論が交わされました。本号ではその中の一部を紹介いたします。9月にも2回の説明会を予定していますので、多くの会員の方の参加をお待ちしています。

9月の説明会開催予定
・第3回 9月7日(水) 19:00〜
・第4回 9月17日(土) 13:00〜
『会場は北郷東会館』

未加入世帯から除排雪費 だけでも負担を!

【質問・意見】

未加入世帯には、町内会に加入していませんが、ここに住んでいる以上は除排雪が大変だということも分かっています。100円でもいいから払ってもらいたいと思います。

町内会加入ではなく、除排雪費を義務的な経費として徴収することはできないか。

【説明】

除排雪費のみを徴収する仕組みがないためできません。また町内会は任意の団体であるため、強制もできません。オーナーと連絡が取れないマンション等ではまとめて加入は難しい状況です。また、加入後に集金に行っ

ても会えず、結局退会する世帯もあります。区の役員に負担がかからないよう、地区の状況に合わせて加入促進をお願いしたい。町内会パンフレットを作り直す予定なので活用してほしい。

実証実験型と通常型の実 施後の状態の違いは

【質問・意見】

経費的な面では実証実験型を採用することも検討しているところの状況を調べて、どちらが良いかを検討してもよいのではないかと。

【説明】

実証実験型は通常型に比べてレベルは落ちます。排雪量は通常型の7割程度で、雪の残し方は業者と土木で決めるため、町内会で指定はできません。実証実験型のアンケートでは、雪解け時期に車両が埋まるなどの苦情も多いようです。

市内のパートナー制度と トラック制度の実施状況は

【質問・意見】

市内の実施状況はどうなっているのか。

【説明】

都心部や郊外など地域の状況が違います。白石区の平成30年度の状況は、約140の単位町内会のうちパ



会長あいさつ

トナー制度が65団体、トラック制度実施が13団体となっており、実施していない町内会も多い状況です。

今後の状況ではトラッ ク制度に戻すのか

【質問・意見】

パートナー制度がダメな場合はトラック制度に戻すのか。

【説明】

トラック不足などの様々な問題があり、戻すことは考えていません。

市の排雪が入る通学路 も排雪してほしい

【質問・意見】

通学路は市の排雪が始業式前に入るが、時期のずれる町内会の排雪時にはまた積雪が増えて危険なので排雪してほしい。

【説明】

市で排雪を実施した道路を町内会で再度実施すると、排雪距離が増えて金額も増えてしまいます。通学路の積雪が危険な状況の場合、白石土木に連絡していただく比較的早く対応

してもらえらると思います。なお、特定の場所についての要望は個別に伺います。(町内会排雪は限られた予算内での実施計画とご理解ください。また、増える距離によっては変更する会費の金額が変わる可能性があります。)

未加入の家の前は排雪し なくても良いのでは

【質問・意見】

約2千世帯の未加入世帯の家の前は排雪しなくてもよいのではないかと。

【説明】

道路の一部だけ雪が残ると周辺住民の通行時の妨げになる。また、排雪時の技術的な問題で未加入の部分だけ雪を残すのは難しいです。区長さん、班長さんに大きな負担がかからないよう地域の皆さんで加入促進活動をお願いいたします。

説明会参加者は1回目17名、2回目16名と決して十分な人数とは言えない状況です。会則の改正には会員約4,000世帯のうち3分の2の約2,700世帯以上の賛成が必要です。採決結果によっては町内会の排雪が廃止になることも考えられます。残り2回の説明会がありますので、より多く、いろいろな意見を出していただきたいと思います。